

新商品紹介（2021年12月～販売開始！1個各200円）

抹茶あずきマフィン



抹茶と甘納豆の相性バツグン！
抹茶の高級感あふれる香りと甘納豆の贅沢な味わいが楽しめます。

ゆずマフィン



ゆずの爽やかな香りと、はちみつの優しい甘さがベストマッチ！ゆずピールをトッピングしています。

限定・通常商品ともに、電話またはHPより受付しています。
下記でも販売しています。

目黒区役所（第1・3金曜 12時～13時半頃）

さんまるしえ（月～土 11:00～19:00 目黒区目黒本町1-14-24）

COHANAーコハナー（火～土 11:00～15:30 目黒区八雲1-1-10）

受注作業の依頼をお待ちしています！

就労継続支援B型では、一般企業等からお受けして行う受注作業を募集しています。現在は、区内のお寺から供養されたお財布を受け取り解体する作業を行っています。軽作業など、できそうなお仕事があれば、一度お問い合わせ頂けると嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

問い合わせ先：03-3713-8207



寄付金のお願い

私共法人の理念は、制度の間にある人への支援を検討し、全国に普及啓発することであり、若年性認知症や高次脳機能障害の人のための専門施設が、その専門性を発揮して、安心・安全に運営を継続することが、何より大切なことと考えております。当法人の理念や活動に共感いただき、応援して下さる方は、大変恐縮ですが寄付金によるご支援、ご協力を賜われればありがたく存じます。NPO法人は、賛助会員の皆様による事業の応援によって運営が成り立っております。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

【ご寄付は以下の口座で承っております】

■三井住友銀行

店番号 094 学芸大学駅前支店

口座番号 6711899

口座名 特定非営利活動法人 いきいき福祉ネットワークセンター

■ゆうちょ銀行

記号 10000

番号 95750581

口座名 特定非営利活動法人 いきいき福祉ネットワークセンター

会員とは

●NPO法人の会員とは、主に賛助会員で構成され、事業活動を理解して応援して下さい方をいいます。

●当NPO法人の場合、若年性認知症や高次脳機能障害の啓発活動を応援して下さい方が会員となります。

●施設利用の有無に関わらず、応援することができます。

会費とは

●事務局の運営、並びに通信の発行や講座等の啓発活動に使われます。

【会費】 ■入会金…1,000円 ■年会費…1,000円

新規NPO会員のみなさま

今回、11名の方にご入会頂きました。ありがとうございました。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

編集後記

新型コロナウイルスの感染者数が減少しましたが、まだ終息したとは言えない状況です。引き続き気を引き締めて感染症対策に努め、安全な運営ができるようにしていきたいと思っております。

いきいき通信

Vol.47

Jan.14th 2022

コロナ禍で支えあう人と人とのつながり

少しずつ新型コロナウイルスの感染者は減少してきていますが、感染拡大防止のため、大人数での集まる機会はまだまだ制限があります。当法人では、若年性認知症・高次脳機能障害の方々により良く安心した生活が送れるよう、今年度は感染状況を見ながらオンラインや対面形式を組み合わせる事業を実施してきています。オンラインの利便性も活用しつつ、やはり顔を合わせて交流し、連携を深めていく機会は今後も引き続き大切だと実感しています。啓発活動を通じ、コロナ禍での人と人とのつながりを支えあっていきたいと考えています。



目黒区高次脳機能障害者支援連絡会

2021年10月20日（水）に、オンラインにて開催し、約50名の関係機関の方に参加いただきました。参加していただいた医療機関の方に、情報共有・意見交換を行う中で感じた今後の支援の在り方についてお話をうかがいました →2面へ

めぐろ高次脳機能障害サポーター養成研修

地域にどのような支えあいがあればよいか、地域の方々と情報交換する場として中央地区には「中央まるごとネットワーク」という場があり、当法人も参加しています。今回、参加メンバーの皆さまを対象に、2021年12月9日（木）に研修を実施しました。研修に参加し、新たにサポーターになった社会福祉協議会の方に感想をうかがいました →2面へ

若年性認知症ピアサポート事業

当事者主体で行っている取り組みとして2021年12月9日（木）に実施しました。今後の生活について不安を抱える当事者の方に、ピアサポーターの方より、同じ境遇だからこそ分かり合えること・提案できることなど様々なお話がありました →3面へ

新入職員紹介

今年度は2名の新たな職員（相談員）を迎えました。どうぞお気軽にお声かけください。よろしくお願いいたします。どんな職員達なのか、メッセージを届けてもらいました →3面へ



【目黒区高次脳機能障害者支援センター】

目黒区高次脳機能障害者支援連絡会に参加して

医療法人社団輝生会 初台リハビリテーション病院

ソーシャルワーカー 相原 友美・相沢 卓

コロナ禍で顔の見える連携がとりにくい中、このような会議を開催いただきありがとうございます。意見交換の場でも各支援機関からコロナ禍で、面会制限や退院支援など苦慮しながら対応されているとの報告が多く、1日でも早く元の体制に戻れることを祈るばかりです。

事例では利用者の社会参加に向けた取り組みを報告いただきました。当院でも似ている方がおり支援が難航しておりましたが、事例を通しメゾでの支援方法のヒントをいただくことができ、実務に活かすことができいております。また後日個別でご相談対応いただけたことも深く感謝しております。

当院は脳血管疾患の患者が多いため高次脳機能障害を抱えている方が多くいます。また、近隣ということもあり目黒区に住まれている方も多く、今後も各支援機関の皆様と連携をとらせていただくことがあるかと思いますが宜しくお願いいたします。



【目黒区高次脳機能障害者支援センター】

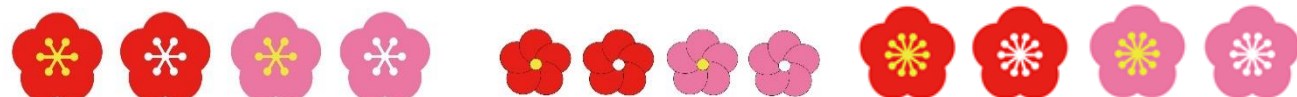
めぐろ高次脳機能障害サポーター養成研修を受講して

社会福祉法人 目黒区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 大熊果奈奈

「住民主体の地域づくり」を目的に、区内5地区に協議体を設置し、地域の支え合いの推進に向けて話し合いの場を設けています。中央地区では「中央まるごとネットワーク」と称し、「地域の誰もが支える側にも支えられる側にもなる。みんなで支え合う。世代関係なく、若年性認知症の方も障害をお持ちの方もみんなまるごと地域でつながる」を理想の地域像としています。

どんなに会や場所があっても、受け入れる側の理解がないと、その方の居場所にはなりません。理想の地域像を実現していくためには、病気や障害等に正しい知識と理解を持ち、また地域の方たちへ呼びかけていくことが大切です。今回、メンバーや地域住民の方と一緒に養成講座を受講させていただき、高次脳機能障害の特徴や症状を聞くことで、なぜそのような言動をされるのかを理解することができました。また、障害の特徴に合わせた関わり方を教えていただくことで、「関わりづらさ」から「理解したい、一緒に考えていきたい」と改めて感じ、とても参考になりました。

わたしたちもサポーターとして地域の皆さんへ理解を呼びかけていながら、誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて働きかけていきたいと思っています。



【東京都若年認知症総合支援センター】

若年性認知症ピアサポーター事業(第2回開催)

今回は若年性認知症の当事者のお二人にピアサポーターとなって頂いて実施しました。相談者とは初対面でしたが、笑いも交え、和やかな雰囲気でのピアサポート本番となりました。

ピアサポーターからは、病気が分かった時のことや仕事を退職した時のこと、今の生活についての体験を伝えて頂きました。「認知症があっても一度きりの人生だから楽しく生きたい」「家族とぶつかることもあったが、同じ境遇の方と活動することで安心感につながって穏やかに過ごせている」など、普段では聞けない心のうちも話して下さいました。相談者からは、ピアサポーターの体験に共感した前向きな言葉が聞かれ、「話ができて良かった」と喜ばれている様子でした。ピアサポーター自身も、互いの話が聞けて、「自分もピアサポートを受けたみたい」と感想を述べられていました。

ご家族や支援者には話づらいことも、同じ立場の者同士であれば悩みを分かちあえることや共感しあえることがあるかもしれません。若年性認知症の当事者のピアサポーターとお話してみたいという方がいらっしゃいましたら、お気軽にお問い合わせ。TEL:03-3713-8205 担当:野々山・後藤



新入職員の紹介です。どうぞよろしくお願いします



- 氏名:井田 真希(いだ まき)
- 職種:社会福祉士・精神保健福祉士
- どんな時に幸せを感じますか?
旅先で美味しい名物料理を食べた時
(京都の湯豆腐は最高でした…!)
- 皆さんへ一言
皆様に毎日充実して過ごして頂けるよう、明るく笑顔で頑張ります。



- 氏名:月岡 瑞香(つきおか みずか)
- 職種:社会福祉士
- どんな時に幸せを感じますか?
たくさんありますが、仕事中はご利用者様と笑い合えたときに一番幸せを感じます。
- 皆さんへ一言
一日一笑顔をモットーにしています。ご利用者様と一緒に笑えるひと時を作れる支援員でありたいです。

